

講習会委員会

2007年2月22日

第84期講習会委員会活動報告

委員長 平澤 茂樹 (神戸大学)

幹事 鈴木 敦 (日立製作所)

2007年度に開催する企画について協議し、以下の講習会と熱工学コンファレンス・プレイベントセミナーの2行事を企画した。

1. 講習会(No. 07-20)の企画 (プログラム会告は学会誌4月号に掲載予定)

テーマ:『伝熱工学資料 (出版準備中の新版)』の内容を教材にした熱設計の基礎と応用

開催日 2007年7月3日(火)、4日(水)

会場 東京工業大学大岡山キャンパス百年記念館4階フェライト会議室

(<http://www.libra.titech.ac.jp/cent/welcome5.html>)

内容 電子機器をはじめ、あらゆる機器で小型化、高性能化が進み、機器の熱設計は重要になっている。そこで、出版準備が進む『伝熱工学資料 (改訂第5版)』の主な改訂部分を中心に、従来からある基盤的な内容やJSMEテキストシリーズ『伝熱工学』の一部も教材に含めて、伝熱工学の基礎と応用を幅広く網羅する講習会を企画しました。伝熱工学の概要を集中して学んでいただくと同時に、熱設計の実務者にとって必携の書ともいえる『伝熱工学資料』の改訂内容を先取りできるまたとない機会です。伝熱工学の初心者から実務経験者まで、皆様の積極的なご参加をお待ちします。

・2日目はPCを持参して下さい(PCを持参しなくても聴講可能です)

・最新情報はホームページ(<http://www.jsme.or.jp/ted/lecture07.htm>)でご案内いたします。

1日目 (7月3日)

10:30~11:00	全体を見渡す話	西尾茂文 (東大)
11:10~12:40	基礎と伝熱問題のモデル化	圓山重直 (東北大)
13:40~15:10	熱設計応用	石塚 勝 (富山県立大)
15:20~16:50	ヒートパイプ, 振動型熱輸送管	望月正孝 (フジクラ)
17:10~18:40	懇親会	

2日目 (7月4日)

9:30 ~11:00	省エネルギー対策	花村克悟 (東工大)
11:10~12:40	ピンフィン, タービュレンスプロモータ, 熱伝達の促進技術	廣田真史 (名大)
13:40~15:10	マイクロ伝熱機器	大田治彦 (九大)
15:20~16:50	『伝熱工学資料』の付属ソフト(PCを用いた演習)	佐藤勲 (東工大)

定員 : 50名

参加費 : 会員 20,000円、会員外 30,000円、学生会員 10,000円、一般学生 15,000円

懇親会参加希望の方は、別途 3,000 円を申し受けます。

教材 : 教材のみご希望の方は 1 冊につき会員 4,000 円, 会員外 5,000 円。

2. 熱工学コンファレンス・イベントセミナー(No. 07-21)の企画

(プログラム会告は学会誌 9 月号に掲載予定)

テーマ : 「地球環境問題に取り組む熱工学の最前線」

開催日 : 2007 年 11 月 22 日(木) (⇒ 熱工学コンファレンスの前日)

会場 : 京都大学 京大会館 (<http://www.kyodaikaikan.jp/>)

開催の趣旨 : 熱工学は地球環境問題に深く関係する学問であり, 今後ますます深刻化する地球環境問題の解決に向けて, 我々熱工学研究者は多種多様な観点から同問題に取り組まなければならない。本セミナーは, 種々の新しい観点から地球環境問題に取り組む第一線の研究者をお招きして, 講師の先生方が現在取り組んでおられる研究課題を中心に地球環境問題と熱工学との関わりを解説して頂き, 今後同分野に取り組みたいと考えている熱工学研究者・技術者の方々に将来の展望と課題を提供するものである。

・最新情報はホームページ(<http://www.jsme.or.jp/ted/thermal07/seminar.html>)でご案内いたします。

スケジュール・講演内容

13:00～ 受付開始

13:20～14:20 『(題目未定)』講師 : 塩路昌宏先生 (京都大学)

内容 : クリーンエネルギー社会の展望と課題など

14:20～15:20 『(題目未定)』講師 : 北川邦行先生 (名古屋大学)

内容 : バイオマスエネルギー, 高効率エネルギー変換の展望と課題など

15:20～16:20 『(題目未定)』講師 : 飛原英治先生 (東京大学)

内容 : 自然冷媒利用の熱システムの展望と課題など

定員 : 50 名

教材 : 講演スライド資料を印刷したものを準備。

参加費 : 熱工学コンファレンスの参加登録者は無料, 非登録者は資料代として 2000 円。学生無料。